

香川の
土地改良

みどり
水は里ネット香川

発行所
香川県土地改良事業団体連合会
高松市番町五丁目1番29号
TEL (087) 832-7140
FAX (087) 832-7150
<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



公測池（高松市東植田町）

目次

1. 農業農村整備の集い開催2
2. 令和2年度土地改良区複式簿記導入促進特別研修開催3
3. 中部地区土地改良協議会周知会及び土地改良相談開催4
4. 令和2年度換地計画実務研修会開催5
5. 多面的機能支払交付金 補修技術研修会開催5
6. ため池の池干し（掻い掘り）と効果6
7. 「水を追う男・西嶋八兵衛物語り」第十回7
8. NHKラジオ「まんで香川きっきょん!？」出演／会と催し8

農業農村整備の集い開催



二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長による挨拶

11月20日、「農業農村整備の集い」が東京都千代田区のシェーンバッハ・サボーにおいて、“農を守り、地方を創る予算の確保に向けて”をテーマに開催された。

この集いには、全国から農業農村整備事業関係者約400名が参加し、本県からは、本会の三笠副会長をはじめ、栗田理事ら4名が参加した。

開会に当たり、二階俊博全国土地改良事業団体連合会会長は、「日夜頑張っている農家の方々の期待に応えられるよう『闘う土地改良』のもと予算確保のために決意を持って取り組んでいくので、関係者皆様方の協力をお願いしたい」と挨拶された。

次に、来賓として出席された野上浩太郎農林水産大臣、佐藤勉自由民主党総務会長、森山裕自由民主党国会対策委員長、塩谷立自民党農林・食料戦略調査会長、都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧問である進藤金日子参議院議員及び宮崎雅夫参議院議員より祝辞が述べられた後、「令和3年度当初予算の確保」など12項目の要請書が全会一致で採択された。続いて、水土里ネット山梨より「水土里



野上浩太郎農林水産大臣による祝辞



進藤金日子参議院議員による祝辞



宮崎雅夫参議院議員による祝辞

ネット女性の会設立状況と活動方針」について発表があり、終わりに熊川栄群馬県土地改良事業団体連合会会長による令和3年度予算確保に向けたガンバラウ三唱で盛会裏に終了した。

令和2年度土地改良区複式簿記導入促進特別研修開催



本会野瀬常務理事による開会挨拶

11月10日、サンメッセ香川 サンメッセホール（大会議室）において、全国土地改良事業団体連合会主催による令和2年度土地改良区複式簿記導入促進特別研修が開催された。

本研修は、平成31年4月に施行された改正土地改良法の改正事項の一つとして土地改良区等の貸借対照表作成・公表が令和4年度から義務化されることに伴うもので、土地改良区の円滑な会計移行を実現する事を目的として、土地改良区体制強化事業実施要綱に基づき実施されるもので

ある。

本県における研修には、県内土地改良区役職員や県、市町の担当者ら約120名が参加し、本会野瀬常務理事による開会挨拶の後、複式簿記の本格導入に向け、財務諸表等の作成手順や開始貸借対照表の作成の流れなど、土地改良区が複式簿記会計を行うための、より実践的な内容となっていた。

土地改良区における複式簿記導入促進特別研修は、令和3年度も土地改良区体制強化事業の一環として開催する予定である。

研 修 科 目	講 師
会計細則等見直し等	全国土地改良事業団体連合会 支援部参与 田村 栄 二
財務諸表等の作成手順 I	全国土地改良事業団体連合会 支援部主幹 田 中 克 哉
財務諸表等の作成手順 II	全国土地改良事業団体連合会 支援部主幹 田 中 克 哉
開始貸借対照表	全国土地改良事業団体連合会 支援部参与 田 村 栄 二
資産評価マニュアル等	全国土地改良事業団体連合会 支援部主幹 田 中 克 哉



講師 全土連 田村栄二 参与



講師 全土連 田中克哉 主幹

中部地区土地改良協議会周知会及び土地改良相談開催

12月1日、ホテルパールガーデンにおいて、中部地区土地改良協議会主催による土地改良周知会が開催され、引き続き本会の土地改良相談を行った。

土地改良相談では、ため池の管理についての相談や、法定外公共物の維持管理や費用負担の在り方についての相談が挙げられた。

ため池の管理については、ため池の整備を含めた農地整備事業の実施について等、今後のため池の適正な維持管理について管理専門指導員より助言があった。

また、法定外公共物の管理については、水利組合等、水路の維持管理を行うものは、まずは、水路の所有者である市町と管理に関する契約等を交わすなどして、適正な管理権限を得ることが必要であり、地元住民との民法上の適切な合意形成を得るため、水路の維持管理の必要性や費用負担の妥当性について、十分な理解と協力が必要と説明があり、今後の土地改良施設の維持管理についての課題が明確となった。

周知会

(1) 令和3年度農村振興局関係概算要求について

香川県東讃土地改良事務所 指導課 課長 有馬 正彦

(2) 香川ため池保全管理サポートセンターの業務について

香川県土地改良事業団体連合会 会員支援課 課長 白川 邦明



中部地区土地改良協議会 三笠会長による挨拶



香川県東讃土地改良事務所 宮崎所長による挨拶



土地改良相談開設

令和2年度換地計画実務研修会開催



主催者挨拶

11月18日、香川用水記念会館多目的室において、土地改良区体制強化事業の受益農地管理強化対策の一環として、令和2年度換地計画実務研修会を開催した。この研修会は、換地技術の強化をはじめ、換地事務の円滑な推進や換地業務等に関する知識の向上を目的に開催している。

換地理論、所有者不明土地問題解消への取組、非農用地協議等4科目の研修が行われ、県、市町、土地改良区の職員や新規地区推進委員など51名が受講した。多くの質疑応答がなされ、有意義な研修会となった。

研修科目	講師
換地理論	中国四国農政局農村振興部土地改良管理課 農地集団化推進官 糸山 正明
所有者不明土地問題の 解消に向けた取組	高松法務局民事行政部不動産登記部門 統括登記官 伊與木 洋一
非農用地協議について	香川県農政水産部農政課 主任 吉田 和正
換地関係異議紛争処理 事例	香川県土地改良事業団体連合会 係長 島田 千尋



研修会の様子

多面的機能支払交付金 補修技術研修会開催

令和2年度香川県多面的機能発揮促進協議会の業務の一環として、本交付金に係る補修技術研修会を開催した。この研修は、本制度の資源向上活動の共同活動に取り組む活動組織を対象に実施するもので、活動組織は協定活動期間（5年）内に1回以上は受講することが必須とされている。

今年度は、11月27日から12月9日までの期間、県内6会場で12回に分けて実施し、202組織、348名が参加した。研修講師は、



大規模なゲートから小さな用水路まで幅広く水門の設計、施工、各種部品の製造を行っている株式会社 村上製作所と大和鉄工所の方にお願ひし、ゲート類の補修塗装についての説明、実演を行った。塗装をする際には、錆を丁寧に落とすことが最も大切であることや下塗り・中塗り・上塗りの3回塗りを行うことで施設の長寿命化が図れることを実感した研修となった。



ため池の池干し（掻い掘り）と効果



三郎池（高松市三谷町）



松尾池（高松市西植田町）



城池（高松市東植田町）

ため池の水利用が少ない冬季に水を一時的に抜いて底部を天日乾燥させる「池干し」が県内各地で見られる。

池干しをしている光景を見ると、貯水時の様相とは異なり、その壮大さがより一層際立つ。先人が苦勞の末に築き上げた地域のかげがえのない財産であることを再認識させられる必見ものだ。

ため池の水を抜くことで期待される効果は、目視による堤内点検作業の確実性はもとより、外来種による被害が生じている池では、池干しと併せて外来種の駆除が可能、不法投棄されたごみの撤去による水質改善、豪雨による決壊の危険性の回避等が挙げられる。また、池干しで掻き出された泥には、窒素やリンなどの栄養分が豊富に含まれ、農業肥料としても活用されており、他県では海的环境改善にも利用する活動が進んでいる。

国は年末に策定する2021年度の地方財政対策に、河川などに堆積した土砂の撤去を支援する「緊急浚渫推進事業」の対象に、「防災重点ため池」を追加する方向で検討がなされており、ため池に土砂が堆積し緊急時に放流できず、水が溢れたり決壊することを防ぐための施策となっている。

農業人口の減少とともに管理が行き届かないため池も増えており、防災上の観点からも池干しやため池の浚渫事業の必要性が改めて認識されている。



打越下池（丸亀市綾歌町）

水を追う男・西嶋八兵衛物語り

第十回 八兵衛が四千両の借財

「四国作家」同人 平井 忠志

西嶋八兵衛は矢延平六に言った。「俺は西讃に満濃池のような巨大な池をもう一つ造ろうと思うがどうじゃ」平六は驚いた。「そんないい場所がありますか」

「ある。四、五日前に踏査した大野原村の井関じゃ」八兵衛は観音寺市を流れる柞田川の本流を締め切って、ここに満濃池クラスの巨大な池を築く計画を立てた。当時の八兵衛の構想が、『井関池由来並水掛り池々之覚』という古文書に残されている。

それによると、堤は東の地藏院山の頂と西の鑄物師の岡を結び、井関村をすっぽり池底に沈めている。池のなぎさは落合集落まで二キロメートルというから、現在の井関池の数倍の規模になる。しかも集水面積は満濃池の三倍もあり、貯水能力は抜群といえよう。

古文書によると、「大野原残ラズ田地ニナシ、万石モコレ有ルベク積リ、サテハ柞田、観音寺マデヘモ用水ニ遣ハスベクトノ積リ・・・」とあるから、八兵衛の心意気がうかがえる。おそらく大野原の開拓とあわせて、柞田川の沿岸千数百町歩の水掛かりを想定したのではなかろうか。

八兵衛は讃岐生駒藩に在職中、将来の讃岐を見据えて藩の蓄えを吐き出させ、投資限度ぎりぎりの事業を一気に進めた。「借入額は丁銀百三十貫目にもなるか。仕方あるまい」

八兵衛は町人から借用する決心を固めた。この時代、関西の貨幣は銀本位で、これを江戸の金に換算すると四千両に余る大金である。借入先は京で大名貸や蔵米取扱い、普請作事などを手広く商っているいわば総合商社の「木屋」の平田与一左衛門である。

「一か月一貫目につき、十五匁あての利息を頂きます」平田与一左衛門は言った。これは単利で計算しても年一割二分。複利だと年二割一分あまりになる。借入は寛永十六年三月一日で、「当暮れに元利ともにきつと返弁申すべく候。もし来年に相延び候はば、利を元に直し利息算用申すべく候。少しも無沙汰あるまじく候」（大野原の儀に付萬覚書）と、支払い条件もなかなか厳しい。

連署人の筆頭は西嶋八兵衛である。続いて江戸家老筆頭石崎若狭、国家老筆頭生駒帯刀、ほか生駒藩の重臣が続き、総勢六名が名を連ねている。

むろん大金の借用であるから、藩の重臣たちだけで借用できるものではない。この借用証にも藩主が裏書している。

「右、表書きのとおり借用申すところ、実正なり。きつと返弁申し付くべく候。以上」（前記覚書）として藩主生駒壱岐（高俊）の署名押印がある。



井関池

NHKラジオ「まんで香川きっきょん!?!」出演



11月30日NHK高松放送局の特設スタジオにおいて、「まんで香川きっきょん!?!」の放送が行われ、香川ため池保全管理サポートセンター長白川邦明が出演し、サポートセンターの取り組みについて、アナウンサーからの質問に答える形で番組が進行された。

Q：設置して2ヶ月経とうとしていますが、実際にパトロールして分かったことはありますか？

A：これまで、50ヶ所くらいのため池の調査を行ってきましたが、5千m³規模以下の小規模なため池の老朽化が非常に進んでいることを実感しました。ため池堤防の土の部分が進食されていたり、堤防の裏側で漏水が確認出来るため池も見られました。

Q：サポートセンター設置後の周りの反応はいかがですか？

A：まだ住民からの問い合わせも少ないですが、今からため池の診断を行って診断状況についてため池管理者に報告をしていきます。老朽化が進んでいる場合は、緊急的な補修等のアドバイスを行っていく予定です。

ラジオ放送の中盤で、白川センター長の思い出の曲として山口百恵さんの「秋桜」が流れるなど終始和やかなムードで放送が行われた。

会と催し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
11月10日	令和2年度土地改良施設の整備補修事例検討会	高知県
11月10日	令和2年度複式簿記導入促進特別研修	高松市
11月12日	第1回香川県農業農村整備事業環境情報協議会	高松市
11月13日	香川県農業・農村審議会	高松市
11月16日	まんのう町土地改良区統合整備設立委員会・推進協議会第7回委員会	まんのう町
11月18日	令和2年度換地計画実務研修会	高松市
11月20日	農業農村整備の集い	東京都
11月20日	香川県農地機構令和2年度第3回事業運営協議会	高松市
11月25日	多面的機能支払交付金web会議	高松市
11月27日	まんのう町土地改良区統合整備推進協議会幹事会	まんのう町
12月1日	令和2年度中部地区土地改良協議会周知会及び土地改良相談	高松市
12月2日	まんのう町土地改良区統合整備第2回設立委員会	まんのう町
12月4日	令和2年度土庄町地域農業再生協議会通常総会及び部会	土庄町